

補助金調書

補助金名	交通施設バリアフリー化設備整備費補助金			担当課 (連絡先)	住宅都市局都市計画部交通施策推進課 (TEL: 733-5405(内2841))	
交付先	<input type="checkbox"/> 団体	【交通事業者】		区分	建設費に対する補助金	
交付先決定方法	<input type="checkbox"/> 非公募	(公募の場合) 公募時期				
(公募の場合) 応募要件						
補助開始年度	平成14	年度	経過年数	11	年度	
補助金の目的 及び 補助対象事業	<p>【補助金の目的】 高齢者や障がいのある人をはじめ全ての鉄道利用者が、安全且つ円滑に駅旅客施設を利用することを目的として、鉄道事業者による駅のバリアフリー化設備整備にあたり、エレベーター等の設置費用の一部について公費による支援を行うもの。</p> <p>【補助対象事業】 鉄道駅施設バリアフリー化促進事業</p>					
交付対象経費及び 補助金の算定方法 等	<p>【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】 補助対象経費に3分の1を乗じて得た額以内 但し、エレベーター又はエスカレーター1基あたりの補助対象額が5千万円を超える場合は、エレベーター又はエスカレーター1基あたりの補助対象額は5千万円を上限とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 定額 <input type="checkbox"/> 定率</p>					
交付状況等 【上段: 交付件数】 【下段: 決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度		
	件	0 件	1 件	1 件		
	33,333 千円	0 千円	14,531 千円	14,889 千円		
前年度補助事業 の主な実施概要	<p>※前年度においては、事業実績なし</p> <p>【参考】 「福岡市交通バリアフリー基本方針」に基づき、1日あたりの乗降客数が5千人以上(特定旅客施設)の主要交通結節点13駅について、優先的に整備促進に取り組んでおり、これまでに12駅が完了している。</p>					
補助金交付 による効果	<p>高齢者や障がいのある人をはじめ全ての鉄道利用者人が、利用しやすい安全で快適な交通環境の創出に向け、公共交通のバリアフリー化の促進に寄与している。</p> <p>【参考】 国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」において、平成32年度までに乗降客数3千人以上の駅のバリアフリー化について、原則100%整備する目標が掲げられている。</p>					

※1: 金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。また、当該年度は当初予算額を記載しております。